

やまとからのそよ風」 2021年5月号

発行：社会福祉法人尾道のぞみ会やまと 〒722-0403 尾道市御調町大山田 1139-2 TEL/FAX 0848-76-2356

尾道のぞみ会ホームページ <http://www.o-nozomi.or.jp> にて「やまとからのそよ風」のカラー写真、バックナンバーがご覧いただけます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。やまとの山口洋明です。それでは、5月のやまとの様子をお知らせいたします。

やまとでは本格的に田植えに向けての作業が始まりました。耕うん作業を4月に終え、GW明けから、代掻きが始まりました。



代掻きは、耕うん作業をした田んぼへ水をいれ、縦、横、外周と畑を平らにしていく作業になります。この作業がとても肝心で時間のかかる作業です。

今年はトラクターの調子が悪く、地域の方にご指導をいただきながら、作業をしました。「ここは再度こうした方がよい」など具体的にご指導をいただけて、学ぶことが多くとても勉強になります。

昨年度までお米作りを担当していた職員が異動になって初めてのお米作りということもあり、地域の方もこれまで以上に気にかけてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

代掻き作業を終え、1週間程度の間をあけると、田植えができる状態になります。(左の写真は代掻きをしている様子)

そして、5月半ばから田植え作業が始まりました。

田植えは、植えはじめと出るところを確認してから行います。植え方を間違えると、せっかく植えたところを機械で踏みつぶすことになってしまうからです。多少重なる分には大丈夫ですが、重なりすぎると、苗の生育に影響が出てしまいます。そこを地域の皆様に教えていただきつつ、利用者の皆様と作業を行いました。

そして今年も一通りの作業を無事に終わることが出来ました。ご協力くださった地域の方々、利用者の皆様本当にありがとうございました。

普段当たり前のように口にするお米ですが、作るとなるとこんなにも大変なのか、と改めて実感します。

新型コロナウイルス感染症はいまだ猛威を振るっておりますが、感染症対策を徹底して、日々作業に取り組んでいきたいと思っております。

皆様におかれましても、長引く自粛生活の疲れがあるとは思いますが、お身体にはくれぐれもご自愛ください。

それではまた来月号で！

